

令和5年度の各団体の取組一覧

資料3

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
1	上越市商工会連絡協議会	A-1-1 A-1-3	経営発達支援事業	地域資源を活用した特産品開発・観光振興では、地域住民からも積極的に参画していただき、自分たちの地域資源であるとの認識を深めてもらい商品等のファンとなってもらおう。開発段階から販売面に踏み込み継続的的事业経営スタイルを確立する。近隣と連携することで、具体的販売実績に結びつけていく。イベント等により地域コミュニティの再構築と近隣との連携による販売促進支援により商工会員の事業機会を創出していく。	・個別事業者の事業計画策定支援 ・商談会等への出店
2	えちご上越農業協同組合	B-2-4	子どもへの食農教育	・小学生親子を対象とした親子教室や学校のPTC活動との連携による出前講座の開催。食農に関する理解を深めてもらうための内容を企画し、子どもの健全な成長に寄与する。	小学生を対象に食農対象教室「ちゃぐりん道場」を年3回実施。また、小中学校に向けた食農教育の出前講座を約30件実施。
3	えちご上越農業協同組合	A-1-4	農業の労働力確保のためのマッチングアプリの活用	—	農業の人手不足対策として、スマートフォン向けマッチングアプリを活用した労働力支援に取り組んだ。令和5年度実績(成立人数60人、マッチング率90%)
4	上越公共職業安定所	A-2-2 B-1-1	子育て女性に対する再就職支援の推進	○再就職支援の推進 ・子育て女性等に「マザーズコーナー」を周知し利用の促進を図る。 ・各種子育て支援サービス等に関する情報提供の実施。 ・求職者ニーズを踏まえた担当者制による就職支援の実施。 ・子育て女性等を対象としたセミナーの開催。 ・新潟県、上越市等の関係者による協議会を開催し、総合的な支援の実施。	「子育て女性等の就職支援上越地域協議会」を6月に開催し、関係機関との連携確認及び、マザーズコーナー等の周知を行った。また、「マザーズ再就職支援セミナー(保育スペース完備)」を11月に開催し、子育て中のお母さん等の就職準備支援を行った。
5	上越公共職業安定所	A-2-1 D-1-1	U・Iターン希望者に対する就職支援	1. U・Iターン希望者へ、にいがたUターン情報センターと連携した就職支援を実施 2. U・Iターン希望者に対して、ハローワークの全国ネットワークシステムを活用した就職支援の実施。	「にいがた暮らし・しごと支援センター(新潟県事業)」と連携し、希望者に対するオンライン相談を実施。12月には、長年親しまれた表参道・新潟館ネスパス閉館に伴い、「にいがた暮らし・しごと支援センター」も一時的に大手町オフィスに移転となった。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
6	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 上越研究拠点	A-1-4 A-2-1	新品種・新技術による地域農業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市やJA越後上越等、関係機関との連携のもと、水稲や大麦などの新品種の普及、加工利用促進の活動を実施する。 ・水稲の低コスト生産技術、大豆や飼料米の生産技術等々、水田農業に関わる新技術について、技術指導等の活動を積極的に実施する。 ・農業者、消費者向けの農業イベントとして、「農研機構 マッチングフォーラムin北陸」を開催し、北陸地域農業の活性化、競争力強化に繋がる活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸農業に適した水稲、大麦、大豆品種の開発を継続し、パックご飯向け水稲、ウイスキー醸造用大麦品種等を育成した。 ・業務用途に適した水稲品種「にじのきらめき」「つきあかり」、米麺用の水稲品種「亜細亜のかおり」等について、上越市やJAえちご上越等と連携し、研修会・研究会等を通じて普及拡大を図った。 ・新規育成系統、および水稲の直播栽培や高温対策、大麦や小麦の多収栽培、園芸作導入のための排水対策やICT化等々の水田農業に関わる新技術について、市内の大規模農業生産法人との共同研究、技術指導・相談等の活動を実施した。
7	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 上越研究拠点	A-1-4 C-2-1	農業と科学技術に対する市民理解の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農業試験研究機関の社会貢献的な活動として、小学生を対象とする「食と農の科学教室」の開催に取り組む。同様に、農業高校生、農業者、農業関係者等を中心とした学習・見学対応にも積極的に取り組む。 ・広く一般市民向けのイベントとして、一般公開を開催し、研究成果の展示、講演会、育成品種の試食、実験・体験等の企画を通じて最新の農業技術に関する情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年、農業関係者、消費者等の一般市民に対する農業技術に関する情報提供活動の一環として、「食と農の科学教室」(主に小学校5年生を対象、総合的な学習の支援、食料と農業の重要性の理解促進)を開催し、18校747名の参加を得た。なお、本企画は平成元年度よりスタートし、34年間で延べ502校、参加者数は延べ17,680名を記録している。
8	新潟県上越地域振興局	B-2-2	生涯を通じた女性の健康支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○女性が抱える様々な健康に関する相談の窓口(電話及び来所) ○普及啓発 ・ホームページ、市の広報、地元新聞等を通じて正しい知識の普及啓発 ○検討会を開催し、関係機関のネットワークを構築するとともに事業を実施する 	女性が抱える様々な問題に対する健康相談や、高校生や事業所に対して講座等で正しい知識の普及を行った。
9	新潟県上越地域振興局	B-2-2	こころと身体の健康相談	<ul style="list-style-type: none"> こころと身体の健康不安に関わる相談を無料で受けています。 ○電話相談 <ul style="list-style-type: none"> ・対応時間:平日8時30分～17時15分 ・電話番号:025-524-6132(地域保健課直通) ○来所相談 <ul style="list-style-type: none"> ・対応時間:平日8時30分～17時15分 ・面接での相談対応は、原則として、事前の予約が必要です。 	こころと身体の相談に対し、専門職(保健師・管理栄養士・精神保健福祉相談員等)が相談に応じた。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
10	新潟県上越地域振興局	B-1-1	地域・職域連携推進事業	-	上越地域・職域連携推進協議会にて、事業所への働きかけの方法について検討し、事業を実施した。 ・事業主、安全衛生推進者への情報提供、啓発 ・事業所等への健康づくり出前講座の実施 ・事業所の支援機関の一覧リーフレット、健康経営に取り組む事業所の事例集の作成
11	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	看護大・上科大連携公開講座	「長寿の秘訣！健康で豊かに生きる」をテーマに、両大学の教員各2名が講師を務める。 参加費無料、参加者約140名(令和元年度実績)	「自分らしく、すこやかに生きるコツ」をテーマに両大学の教員計3名が講師を務め、97人が参加した。
12	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	いきいきサロン	全6テーマで実施する。 ・腰痛症 そんなに心配しなくても大丈夫ですよ ・リラックスできる温泉の入り方・選び方 ・知っておきたい耳、鼻、のどの病気とその対策 ・これならできそう 運動療法 ～糖尿病予防 できることから始めましょう～ ・ストレンスを活かした豊かな暮らしについて ・認知症になっても笑顔で暮らしたい 講師は本学教員の他、医療機関院長等が務める。 参加費無料、参加者各100名前後(令和元年度実績)	上越地域で勤務する医師や本学教員等を講師として、以下のテーマで講演を行い、延べ642人が参加した。 ・認知症のある生活に備える ・アレルギーについて～食物アレルギー、アナフィラキシー～ ・眼精疲労の原因・症状・予防+進化する眼科治療 ・華麗なる加齢を目指そう！女性だけではなく男性にも起こる更年期障害について ・脳の構造と機能から考える「インターネット・ゲーム障害」 ・ストレスマネジメント
13	新潟県立看護大学	A-2-2 B-2-2 D-3-2	看護職学習支援公開講座及びバーチャルカレッジ	看護職学習支援公開講座 ・看護応援トピックス 2コース ・看護研究支援 9コース ・看護実践現場に活かす 2コース 講師は本学教員の他、医療機関認定看護師等が務める。 参加費1,000～3,000円、定員各10名～80名 バーチャルカレッジ ・インターネットを利用し、本プロジェクトホームページ上へ掲載された動画等の教材を用いて学習することができるプログラム。受講者の学びの場や時間を限定せず、インターネット環境さえあればいつでもどこでも繰り返し学ぶことができ、自分のペースで学習することができる。 ・参加費無料、ただし会員登録が必要	・看護職学習支援公開講座 本学教員が講師となり6コースを開催し、延べ181人が参加した。 ・バーチャルカレッジ インターネットを利用し、ホームページ上に掲載された動画等の教材を用いて学習することができるプログラムを提供した。
14	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	出前講座	一般向け全13テーマ ・いざというときに役立つ“子どものホームケア” ・認知症のこと知りたい ・薬物依存症 他 看護職・介護職向け全6テーマ ・看護職・介護職のための緩和ケア講座 他 講師は本学教員、講師料及び謝金等は不要、旅費を負担していただく。 実施件数22件、参加者延べ769名(R2.2.3現在)	上越市社会福祉協議会、公民館、保育園・幼稚園ほかで24回実施し、延べ524人が参加した。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
15	上越信用金庫	A-2-2	上越市創業支援ネットワーク事業	<ul style="list-style-type: none"> 当金庫が、上越市、上越商工会議所、日本政策金融公庫、地元金融機関5行(第四銀行・北越銀行・八十二銀行・大光銀行・新潟縣信用組合)と連携し、「上越市創業支援ネットワーク」(平成25年8月組成)を運営。行政や経済団体、金融機関などの情報、ノウハウを集約し、創業しやすい環境を整備しながら創業を促進することで、雇用の機会の創出を踏まえた地域経済の活性化に結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援ネットワーク会議開催(令和5年5月24日、7月20日、令和6年2月8日 創業セミナーの企画、開催後の検証等) 「創業セミナー」開催(令和5年11月11日 ネットワーク構成機関によるトークセッション、補助金等支援施策の説明等) 「創業塾」共催(令和5年9月30日、10月7日、14日、11月11日、18日 全5日間 参加者36名 創業計画書の作成指導等)
16	上越信用金庫	B-2-4 C-2-1 C-2-2	ふるさと絆プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> 各地域行事への積極的な参加。 小学生図画・版画展覧会の開催。 幼年野球への支援。 小・中・高校生の会社見学等の受入による金融リテラシー教育に係る活動。 上越市「中山間地域支え隊事業」への企業登録及びボランティア派遣による支援活動。 地域経済の景気動向調査活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間2回の作業部会を開催し、事業計画から推進、進捗管理を実施 地域密着活動として43行事に対し、のべ443名が参加 中山間地域支え隊活動への参加 地域の景気動向調査を年4回実施 6月15日の信用金庫の日に店舗周辺の清掃活動、募金、献血、花いっぱい活動(種の配布)を実施 金融リテラシー活動として職場見学を市内2中学校に対し実施 小学生図画・版画展の開催
17	上越信用金庫	A-1-1	地域産品の情報発信等	-	<ul style="list-style-type: none"> 上越ものづくり振興センター様からご協力をいただき、メイド・イン上越認証品の販売会を実施(6、8、10、12月の年金支給日に開催) 上越市社会福祉協議会様のご協力をいただき、福祉施設利用者様の製作品を店頭販売実施(令和6年2月15日)
18	上越信用金庫	A-2-2 B-1-1 C-2-1	SDGs取組支援サービス事業	-	<ul style="list-style-type: none"> 上越信用金庫SDGs取組支援サービスの取扱い開始(令和4年10月3日より受付開始) 「SDGs宣言書」の作成および宣言項目の達成等に向けた伴走支援を継続していくサービスであり、具体的な内容は、 <ul style="list-style-type: none"> ①SDGs取組状況のヒアリングと評価 ②SDGs宣言内容の策定と対外PR支援 ③SDGs取組みの課題解決支援
19	上越信用金庫	D-2-1	脱炭素経営支援事業	-	<p>脱炭素経営に関わる取組みを総合的にサポートしているe-dash株式会社との連携による支援事業(主にCO2排出量測定サービス)の紹介</p> <p>※e-dash株式会社とは 三井物産株式会社の子会社として令和4年2月に設立。CO2排出量の可視化等をサポートするサービス「e-dash」の開発・運営を実施</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
20	連合新潟 上越地域 協議会	A-2-2 B-1-1	働くことを軸と する安心社 会の実現	<p>具体的には、働く人の視点に立った5つの「安心の橋」を架ける運動に取り組むことで、活力にあふれ、自己実現に挑戦できる参加型社会を推進しています。あわせて、「働くことを軸とする安心社会」を支える基盤構築のために、地方分権を進め、公平な負担にもとづく持続可能な社会の構築をめざしています。</p> <p>①働くかたちを自由にする橋(ライフステージに応じた、柔軟でディーセントな働き方を整備する。)</p> <p>②失業と雇用をつなぐ橋(職業紹介、職業訓練、所得保障の一体的支援で、スムーズな復職をサポートする。)</p> <p>③家族と雇用をつなぐ橋(子育てや介護を社会全体で支え、男女平等参画社会を構築する。)</p> <p>④教育と雇用をつなぐ橋(「貧困の連鎖」を断ち切り、学ぶ場から働く場へ円滑に移行できる制度を確立する。)</p> <p>⑤退職と雇用をつなぐ橋(高齢者の知識や経験を社会に活かし、老後の安心を保障する制度を構築する。)</p>	<p>①加盟組合から労働条件維持向上、日常生活の向上に向けた要請を集約し、上越地域3市行政へ提起する。 ・上越市:3月7日(火) 妙高市:3月3日(金) 糸魚川市:3月28日(水)</p> <p>②学習会 ・上越子育てinfo活動紹介 講師はマミーズネット 9月14日(木) 実施 17人参加 ・労働者共同組合法成立記念「医師 中村哲の仕事・働くということ」上映会 9月10日(土) 高田世界館で実施 85人参加</p> <p>③イベントボランティア参加 ・中山間地域支え隊 灯の回廊ボランティア 2月25日(土) 月影の郷 20人参加</p> <p>④福祉施設清掃ボランティア ・いなほ園 新光園 かなやの里 令和5年 延べ65名参加</p> <p>⑤フードバンク上越への支援活動 ・フードドライブ 4月29日(土)第94回 メーデーで実施 10品目59kg ・フードパントリーの運営補助</p>
21	上越市町 内会長連 絡協議会	C-2-2	町内会長まち づくりの集い	<p>○地域コミュニティの核である町内会を代表する町内会長に対して、地域づくりに関する情報を提供し、市とともに地域づくりを進める意識の醸成を図ることを目的に、平成23年度から市と上越市町内会長連絡協議会の共催事業として実施している。</p> <p>・令和元年度は7月10日に開催し、参加者は625人(町内会長474人、町内会役員など151人)であった。</p> <p>○実施内容(基本フレーム)は以下のとおり。 ・上越市町内会長連絡協議会長 あいさつ ・上越市長 あいさつ ・町内会活動事例紹介(3団体) ・講演(専門家講師)</p>	<p>開催概要 ・主催:上越市町内会長連絡協議会、上越市 ・日時:令和6年2月26日(月) 14:00~15:35 会場:上越文化会館 大ホール ・テーマ・コンセプト:人口減少に負けない地域づくりの進め方を考える。~交流人口の拡大による地域活性化のヒント~ ・内容:講演(多田朋孔氏)</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
22	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	A-1-4 C-1-2	上越市中山間地域元気な農業づくり推進事業	<p>中山間地域等直接支払交付金や市補助事業を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。</p> <p>また、地域マネジメント組織の代表者と定期的に各種制度の情報提供や意見交換を実施する。</p> <p>○中山間地域振興作物生産拡大事業、農産物等庭先集荷サービス事業、ふるさと玉手箱事業による支援(市補助事業)</p> <p>○推進協議会、研修会等の開催</p>	<p>・中山間地域農業の「将来ビジョン」の実現に向けた取組(将来ビジョン実践事業費補助金)</p> <p>農地利用や地域農業の方向性を定めた「将来ビジョン」の実現を後押しするため、取組の本格的な実施に先立って行う事前準備や試行的な取組を始め、中心的役割を担う組織体制の構築に要する経費を支援した。</p> <p>・中山間地域元気な農業づくり推進員等による活動支援</p> <p>専門的な知識を有する元気な農業づくり推進員等を4人配置し、「将来ビジョン」の実現に向けた取組をきめ細かくサポートしたほか、農業者等へ農業所得向上に向けたきめ細かな指導、助言を行った。</p> <p>・中山間地域振興作物生産拡大事業補助金</p> <p>農地の保全と農業生産活動を維持するため、水稻の作付けが困難となった農地に山菜やそば等の振興作物を継続して栽培する農業者等を支援した。</p>
23	上越発酵食品研究会	A-1-1 A-1-4 C-3-2	発酵食品の開発促進と「発酵のまち上越」のPR	<p>・ブランドイメージの発信…継続した「発酵のまち上越」の魅力の発信</p> <p>・売れる商品開発…商品の磨き上げや新商品開発の促進、農商工・産学連携マッチング</p> <p>・販売促進…PR機会の提供、飲食店等出口とのマッチング</p> <p>・利用シーン拡大…飲食店における地域発酵食品を活用したメニュー化の促進</p> <p>・次世代継承…次の世代への継承</p>	<p>・食育実践セミナーでみそまる作り体験を実施</p> <p>・越後・謙信SAKEまつり前夜祭の会場にて、上越の発酵に関するパネルを展示</p>
24	NPO法人食の工房ネットワーク	C-3-2	上越市委託イベント開催業務 自主イベント 竹あかり	—	<p>上越市の委託事業で5月新緑まつり、7月あじさい祭りのイベントを実施しました。そのほか2月には地元協議会と竹あかりのイベント開催。その当日には上越教育大学附属小学校の児童が正善寺の魅力を発信し正善寺地区のピーアール活動を行ったおかげもあり天候が雨にもかかわらず、大勢の方の来場がありました。</p>
25	NPO法人食の工房ネットワーク	A-1-1 C-4-1	上越まるごとモリあげ祭	—	<p>新潟県の消費喚起助成金を活用し、2日間にわたりイベントを開催。1日目は、正善寺地区で花火をあげ、田んぼの中に、町内会で作った竹灯籠を並べ花火大会を開催。2日目は地元伝承の天狗獅子舞を行ったり、利き酒マラソンの通過ポイントで県外からの参加者にも大変喜んで頂き、店舗の出店者もそれなりの売り上げを上げるイベントになっている。</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
26	株式会社 大光銀行	A-1-1 A-2-2	各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な支援	<p>「第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向けて、各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な商品・サービスを提供する。</p> <p><実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業者や地域企業への金融支援、非金融サービス、情報提供等 ・クラウドファンディングを活用した地域製品のPR ・「空き家対策ローン」(空き家リフォームローン、空き家解体ローン)の活用 ・「リバースモーゲージローン」の活用 ・「医療・介護・福祉」分野、「農業・六次産業化」分野、「環境・エネルギー」分野、「創業・第二創業」分野、「事業継承・M&A」分野への支援 ・ビジネスマッチング、商談会等の販路開拓の機会提供 ・各種セミナーの開催による情報提供 ・外部専門機関の紹介 等 ・企業の人材不足解消への支援(人材確保支援、IT・RPA等を活用した生産性向上支援、業務効率化支援等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によって影響を受けた中小企業・個人事業主等への金融支援 ・各種補助金・助成金等の情報提供、申請書類作成等のサポート支援 ・WEB・オンライン等を活用した営業支援(オンライン商談会、WEB上のビジネスマッチング、WEB経営セミナー)
27	株式会社 第四北越銀行	B-2-3	「子育て応援私募債」の受託および発行企業との連名による上越市への寄付	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て応援私募債」は当行創立150周年記念企画の一環として取り扱った寄付型私募債です。 ・上越市における育児支援を通じて、地域の活性化とSDGsの達成に貢献することを目的として取り組みました。 ・本取組にご賛同いただき私募債を発行された合計6社のお客様と当行が連名で、上越市へ総額61万円を寄付いたしました。 ・寄附金は、上越市の育児支援に関する取組に活用される予定です。
28	日本政策 金融公庫 高田支店	C-2-2	ソーシャルビジネスへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市、くびき野NPOサポートセンター、上越信用金庫と公庫の4者で「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」を組織し、地域や社会が抱える課題の解決に取り組むソーシャルビジネスの担い手の皆様の支援しています。 ・金融面でも、「ソーシャルビジネス支援資金」等の取扱いを行っており、平成30年度のソーシャルビジネス関連融資実績は、全国で11,328件、834億円(うちNPO法人への融資実績は、1,381件、87億円)となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルビジネス支援資金」融資制度を通じて、NPO法人や社会福祉サービスなどソーシャルビジネスの経営者を支援しています。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
29	日本政策金融公庫高田支店	A-2-2 D-3-1	高校生ビジネスプラン・グランプリ(創業・新事業への支援)	日本公庫では、次世代を担う若者の創業マインドの向上を図るため、平成25年度から全国の高校生を対象としたビジネスプランコンテストを開催しています。平成30年度の第6回グランプリには全国で396校が参加し、4,359件のエントリーがありました。希望のあった高校では、ビジネスプランや資金計画の作り方などについて出張授業を行っており、上越市内でも複数の高校で出張事業を行った実績があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「新規開業資金」融資制度を通じて、創業を図る方や創業して間もない経営者を支援しています。 ・各種「創業セミナー」に参加しました。 ・次世代を担う若手の創業マインドの向上を図るため、平成25年から続く「第11回高校生ビジネスプラン・グランプリ」(全国の高校生を対象としたビジネスプランのコンテスト)を実施しました。
30	日本政策金融公庫高田支店	A-1-1	事業承継への支援	事業の安定と発展、事業継承等を支援し、廃業の抑制を図るためのお手伝いをさせていただきます。事業所の維持・発展は、地域の雇用増大にもつながり、市内への人の流れにもつながります。具体的には、全国152支店網を活かしたビジネスマッチングシステムの活用や公庫主催の国内最大規模の国産農作物展示商談会(アグリフードEXPO)を通じての、上越市内の企業家や農業家等の販路の開拓支援を行います。また、廃業の抑止に資する事業継承・集約・活性化支援資金を通じての金融支援を進めていきます。令和2年4月からは、事業承継マッチング支援を全国展開し、事業引継支援センター等の外部機関とも連携し、地域を超えて事業承継を支援していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業承継資金」融資制度を通じて、事業の承継を図る経営者を支援しています。 ・「事業承継マッチング」を通じて、事業の譲渡を希望する経営者と事業の譲受を希望する経営者を支援しています。
31	日本政策金融公庫高田支店	B-2-2	地域のお子さまの就学支援事業	日本公庫の「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」及び「教育機会の均等」を目的として、昭和54年に創設されました。平成30年度の利用件数は全国で約12万件です。日本公庫では、昨今の厳しい経済状況において多くの大学、専修学校、高校などの進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭の方を対象に融資による就学面の支援を行っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「国の教育ローン」融資制度を通じて、進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭を支援しています。
32	東京海上日動火災保険株式会社	A-1-1	東京海上グループソリューションによる地方創生実現サポート	各種セミナーの実施を予定	大規模災害発生時等における地域企業の事業継続のための支援(事業継続力強化計画策定支援等)
33	第一生命保険株式会社 長岡支社	A-2-1 B-2-1	生命保険事業	—	<ul style="list-style-type: none"> (地域貢献取組として予定している事) ・市の人口減少対策としての婚活イベント ・地域の飲食店支援としてのスタンプラリー ・上越市との包括連携協定による、市民の運動に関する意識調査(市と実施)

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
34	MogMogカンパニーの設立準備会	D-1-1	まち歩きと地域の仲間づくり This & That	—	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の街のにぎわい創造に向けた事業への参加 ・納涼パーティー(他団体とのコラボを終えて反省会を兼ねる) ・クリスマス会(他県で実施できず、Uターン組の参加で活性化する) ・ひなまつり茶話会(新メンバーの顔見せと印象把握の為の茶話会を実施した)
35	MogMogカンパニーの設立準備会	A-2-1 A-2-2 C-3-2 C-4-1	13区を中心とした上越市の魅力を発信するアプリコンテンツ制作・利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・開発をしたアプリを使用した、玄関口上越妙高駅からの観光ルート、観光ナビの政策とその運用。 ・上記を進める中での若い人材や定年後の才能ある高齢者の採用。 ・上越市内数か所の取材と現行まとめと外国語・日本語のガイド制作。 ・その後県外・外への普及活動。 ・多言語展開もできる世界アプリを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを使用したガイドアプリ「Your Travel Agent」の普及促進活動 ・春日山の観光事業への寄与を想定し、「春日山会議」を実施
36	上越商工会議所政策委員会(謙信公)	C-4-1	上越・上田・甲府三国同盟推進事業	<p>三国同盟、必勝祈願の旅を通じた相互送客や情報発信を強化する。</p> <p>①県外市外の観光イベント・商談会への出展 全国山城サミットin上田・坂城大会、観光マッチング商談会への出展等</p> <p>②必勝祈願の旅の催行、並びにろくもん・雪月花相互乗入れ事業の実施</p> <p>③電子媒体を活用した三国スタンプラリー等の実施</p> <p>個人旅行をターゲットに上越・上田・甲府を周遊させる仕組みづくり</p> <p>④観光事業者の観光マインド醸成事業 観光事業者を連れて全国商工会議所観光振興大会への参加等</p>	<p>①地域うまいもんマルシェへの出展 R5.4/25-5/8 日本百貨店しよくひん館(東京秋葉原)</p> <p>②必勝祈願の旅事業 催行日 R5.10/24(火) 参加者数 33名 内容:上田からの団体旅行として武将隊から春日山城を案内して頂いた。</p> <p>③ツーリズムEXPOに出展 R5.10/26~29 インテックス大阪 ※商談会は9社と商談</p>
37	上越ワーキングネットワーク	A-2-2	障がいがある方々の働く場面を創出し、地域生活を支援する	—	<p>①障害者就労支援施設同士のネットワークを形成し、互いのノウハウや共通する課題を協議した。</p> <p>②地域企業等からの受託作業並びに農作業等のご依頼を受け、ネットワーク機能を活用し、協働しながら当該作業に取り組んだ。</p> <p>③イベント販売等で自主製品等の販路を創出し、地域住民ら多くの方々にお買い求めいただいた。</p> <p>④人にやさしいまちづくりへの寄与に繋がる諸活動を通じ、障がいや障がい者の理解啓発活動を行った。</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
38	上越助産師会	B-2-2	上越市、妙高市の母子保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ①上越市四季の縁日…秋色縁日にブース参加 ・助産師会の活動紹介(PR) ・(NEW!)産後ケア事業として、生後0~4ヶ月児の子育て中のパパママの相談窓口を開設する。 ・デコルテマッサージを通してリフレッシュを図り、育児に前向きに取り組めるような支援を行う。 ②妙高市出会い～子育て応援フェア参加 ③上越市母子保健事業(委託事業) ④妙高市母子保健事業(委託事業) ⑤性の健康講座(委託事業) ⑥その他 個人開業で沐浴、乳房ケア、各種研修会・各種講座の講師など 	<p>計画した事業はすべて実施できた。</p> <p>11/23(祭)のふあみりりとの連携は準備期間の短さからできませんでした。</p>
39	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	子育て親子の居場所づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児を子育て中の親が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として、「子育ての応援ひろば ふう」を週に2回開設する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を子育て中の保護者が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として「子育ての応援ひろば ふう」を開設した(毎週2回)。令和5年度の拡充事業として「双子ちゃんの日」を年間5回行った。 保護者同士のつながりや地域とのつながりを実感し、安心感を持って子育てをしていくきっかけの場となった。(上越市地方創生推進補助事業) ・赤ちゃんと保護者が地域の支援者となつながら、保護者同士の交流ができる居場所として「赤ちゃんまんなか食堂」を年間9回開催した。
40	NPO法人マミーズ・ネット	B-1-1 B-2-2	子育て・子どもの育ちに関する学習・啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て中の人や、子育て支援に関わる人、地域の人等に向けての催し、「子育てわいわいフォーラム」を実施。 ●ワークライフバランスの視点をもった、子育て・子育て支援に関する講師の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の人や、子育て支援に関わる人、地域の人等に向けて、「子育てわいわいフォーラム」を実施した。 ・子育て中の親同士が話し合いながら「子どものしつけ」について学び考えあえるワークショップを開催した。
41	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	子育て世代の交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」の実施 ●育児サークルのネットワーク化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」を実施した。
42	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	保育コーディネート事業	<ul style="list-style-type: none"> ●保育ルールの設置については企業・行政・団体等からの依頼により随時実施 ●保育ボランティアを集め、研修機会を設けていく。 ●保育ボランティアが地域人材として活躍できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・行政・団体からの依頼により保育ルームを設置した。 ・保育ボランティアに対して、研修会を行った。 ・保育ボランティアが地域人材として活躍できるよう支援した。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
43	NPO法人 マミーズ・ ネット	B-2-5	上越の子育 て環境の魅 力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 県外、市外での子育てに関する講演のなかで、上越の子育て支援について紹介する。 ● 様々な機会の上越の子育て環境について紹介する。 ● SNS上での「#上越の子育て」発信を継続していく。 ● 0歳から3歳の子どもを育てる家族に向け「親子フェス」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパー「じょうえつ子育て応援誌With Kids NEWS」の発行を行った(年4回発行) ・主に乳幼児～小学低学年の子どもと親に関係するイベント情報を収集し、カレンダーとして印刷・発行するとともに、HP上で発信した(毎月1回)。 ・イベント情報の一部をコミュニティFM局へ提供した(毎週1回)。 ・12月に開催したクリスマスおやこフェス(上越市地方創生推進補助事業)において、子育て中の保護者に上越での子育て環境の魅力を発信した。
44	NPO法人 マミーズ・ ネット	B-2-2 B-2-4	子育て支援 団体のネット ワークづくり 事業	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援団体ネットワークのメーリングリストを運営し、随時情報交換を行った。 ・12月に開催したクリスマスおやこフェス(上越市地方創生推進補助事業)では、子育てを支援する団体や地域で子育てを応援する企業等が参加し、参加団体同士の交流も行われた。
45	NPO法人 ふぁみりり	B-2-2	マタニティ& 子育て家族 フェス	—	<p>2024. 11.23 第3回目を有田福祉の会と共催の元、上越市カルチャーセンターにて、第一回県民たすけあい基金を受けて開催。同時開催にて、上越市若者活躍応援助成金を受け、スポーツの楽しさ体験も同時開催にて行う。相談コーナー、ブース・キッチンカー出展(36社)、セミナーコーナー&公民館講座(4社)、ステージ講演、保育園児の作品展示(四園)、スポーツ体験コーナー(9社)、JCVきらきらスマイル公開収録等、約430組1500人の来場があった。</p>
46	NPO法人 ふぁみりり	B-2-2	産前産後訪 問支援	—	<p>上越市の産前産後ヘルパーでは利用できない期間・内容の家事支援、育児支援、配送支援、相談支援、行政または民間サービスの紹介、各種申請代行を行い、必要に応じて各種関係機関・行政に繋げる事業を行う。利用対象は上越市にいらっしゃる妊婦さん、新生児～概ね1歳のお子さんとそのご家族。対象期間は、母子手帳発効前から概ね1歳になるまで。支援内容や対象期間など、柔軟に対応している。</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
47	NPO法人 ふあみりり	B-2-2	簡易授乳室、 おむつ替えス ペース貸し出 し事業	—	子育て世代が安心して外出できるような地域づくりを目指し、孤立しがちな産褥期・育児期の家族が安心してイベントに参加することで、地域社会とつながることができるよう支援する為に、主に県内で実施されるイベント等の会場に簡易授乳室、おむつ替えスペースを貸し出す(有償)。
48	NPO法人 ふあみりり	B-2-2	オンラインベ ビーマッサー ジ	—	出産と同時に始まる不慣れな育児、はかどらない家事。誰かの手を借りることもできず、赤ちゃんと二人きりで過ごし、夫以外の大人とは会って話すことがない。そんな母親は精神的に追い詰められ、不安に駆られ、孤独に陥ります。またコロナ過では離れて暮らす家族にも頼れず、孤立を深めました。上越市の妊産婦さんが、孤独な産褥期を送ることを防ぎ、早期に社会とつながる窓口を開くため。ひいては産後鬱、自殺、児童虐待を未然に防止するため。ベビーマッサージ体験&助産師・スタッフを囲んでのおしゃべり会をオンラインで開催。
49	NPO法人 ふあみりり	B-2-2	ハイハイレー ス	—	上越市初、イベントにてハイハイレース(はいはい、ずりばい)、よちよちかけっこ(1歳くらいで歩けるお子さん)段ボールカーレース(まだハイハイできない子を段ボールカーに乗せて親御さんが引く)を主催。今年度はUMIDAS、マタニティ&子育て家族フェス、クリスマス親子フェス、Hauイベントの4イベントに参加。
50	NPO法人 ふあみりり	B-2-2	子育て支援 研修	—	子育て支援に意欲や関心を持つ人が、誰でも気軽に子育て支援に関する一定水準の知識を得ることで、地域全体の子育て力を向上し、「妊娠期からの切れ目のない子育て支援」を支える地域づくりを目的に、プロフェッショナルな講師陣をお迎えし、子育て支援研修会を開催。子育てサークルや幼児向けの習い事の運営者、産前産後ヘルパーさんや子育て支援に興味がある方を主な対象としているが、小さなお子さんを持つお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんなど、ご自身の子育て・孫育てにもとても役立つ内容となっている。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
51	高田本町まちづくり株式会社	C-1-1	空き店舗対策事業	<p>①本町商店街出店サポートセンター 物件情報、補助金情報、商店街の情報をひとつの窓口で提供し、本町商店街への出店希望者のサポートを行う。 本町商店街の空き店舗を管理する不動産業者・地権者・商店街・上越市・商工会議所と連携し出店希望者へ有益な情報提供を行なう。 月～金9時～18時開設中(要事前連絡)</p> <p>②本町商店街空き店舗巡りツアー 本町商店街の空き店舗物件内部を見学するツアーを企画・開催。 すぐに出店を希望する人から、いずれは起業したいと考えている人まで、気軽に参加できるツアー。物件の情報だけではなく、街の雰囲気を実験してもらえるよう、イレブンプラザでのイベントの様子なども見学してもらっている。 不動産業者、地権者と連携してツアーを開催している。 2カ月に1回開催予定(第1土曜日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物件活用状況調査(本町3～7丁目、大町5の約300物件/月例) ・物件活用状況報告(年1回) ・まちなか出店サポートサイトのリニューアル ・まちなか出店サポートサイトの更新(高田・直江津の貸物件一覧更新/月例)
52	高田本町まちづくり株式会社	C-1-1 C-3-2	にぎわい創出事業	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんちょうハロウィン(上越最大規模ハロウィンイベント。協力店約40店のトリック・オア・トリート、他) ・本町ガチ盛りまつり(友人・知人を誘う口実になる、ひとりでは食べきれない大きくて楽しいメニューの提供) ・駅弁の出張販売誘致(年金受け取り際、まちなかで手軽に旅情を味わっていただくことが目的)
53	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-1-1 C-1-3 C-4-1 D-1-1	雁木の街「越後高田」の街なか遺産を活用した文化観光・百年体験事業	<p>①宇喜世及び他の100年遺産の歴史体験、文化体験、観光、食事、物販を自由にセット・カスタマイズできる現在も日常生活の場として利用されている遺産を活かした文化体験ツアー。</p> <p>②レンタル和服に着替え、仲居接客(目配り・気配り・心配り)体験、仲居頭からの「おもてなし」講義等を、100年料亭で世界に誇れる「おもてなし」のプロ仲居体験プラン</p> <p>③語り手より百年遺産(建屋・老舗・町屋)等の歴史・文化の説明を受け、雁木の街並みや神社・寺院等を散策する、雁木街歩き「百年文化と老舗めぐり」ツアー。</p> <p>④県外在住の上越出身者に向け、100年の歴史文化越後高田で和の祝宴プランの展開。婚前の「顔合わせ」「結納」をメインに、家族規模の挙式・披露宴を行えるプランも充実予定。</p> <p>⑤浄興寺大門通りを「城下の街並みシンボルロード」と位置付け、まち歩きの語り手説明以外にも、神輿(日枝神社)の巡行、駐車場を利用した夏祭りイベント等を開催する。</p>	<p>①観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」において、文化財「百年建築」を学ぶ研修会などを開催。</p> <p>②上越市ふるさと納税サービス品で、名物鰻蒲焼・宇喜世の宝石・お食事プラン等を取り扱い。</p> <p>③トキ鉄「雪月花」に料理提供</p> <p>④新潟県「消費喚起・需要拡大プロジェクト」応援事業で「ほんもの体験」モニターツアーを実施45名の参加いただく。</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
54	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-3-2 C-4-1	酒造蔵・醸造文化発信事業	<p>①醸造所の見学 醸造所の改装に伴い、一般の方にも酒蔵を体験できる見学会を開催し、市外からの観光客及びインバウンド客を誘客することで日本酒の奥深さを知ってもらおう。</p> <p>②上越産土産売場の設置 上越名物や特産品を手軽に購入できるコーナーを醸造所内に設置し、高田まち歩きの中でおみやげ品等の対応も出来る環境づくりを提案する。</p> <p>③試飲・食事のもてなし 敷地内の「楽酔亭」で庭園を鑑賞しながらの、見学者等に対応した利き酒や試飲を体験してもらおうと共に、一般客や観光客に対しての食事の席も用意することで日本酒を満喫してもらおう。 ※すべての事業の様子を画像・動画で情報発信し、また、来場、来店した方にも情報発信を促す。</p>	新ブランド「NOROSI狼煙」のシリーズ展開を実施。食用米、低タンパク米の日本酒化・赤ワイン樽で熟成しボジョレーヌーボー解禁日に合わせ発売を実施など、従来の日本酒作りと一味違う製法をプラスし、バリエーションを広げた。
55	花のまち高田プロジェクト	C-1-1 C-4-1	花のまち高田プロジェクト	<p>◆事業の概要・・・「花」をテーマに四季を通じた商店街ならびに中心市街地活性化に取り組む。 春・・・「世界の桜」の写真展の開催。→インバウンド×観桜会誘客×個店PR 夏・・・「お水鉢プロジェクト」の開催。→ 蓮まつりPR×商店街PR×まちの景観作り。 秋・・・「たかだ花ロードウイーク」の開催。→アート×商店街振興×まちなか回遊。 冬・・・「本町ウインターマーケット」の開催。→インバウンド×商店街振興 上記のイベントは、本町商店街、まちづくり上越、高田まちづくり株式会社、オープンガーデン愛好会等と連携して実施していく予定。また、時期や期間、回数などは時流や予算を鑑みながら検討し、進めていく。</p>	<p>①城下町高田本町花フェスタ 2023年5月27日(土)、28日(日)開催 (フラワーアレンジメント、ワークショップ、花苗販売、限定商品販売など)</p> <p>②春の上越オープンガーデンと花めぐり 2023年5月13日(土)～6月11日(日) 秋の上越オープンガーデンと花めぐり 2023年10月7日(土)～15日(日) 「上越*遠足ガーデン」 2023年5月20日(土) 高田駅から10ヶ所をめぐり高田駅へ戻るコース 参加者10名</p> <p>③お水鉢プロジェクト 2023年8月1日(火)～15日(火)個店の店先や店内、また、個人宅にお水鉢を展示し高田の夏を楽しんで頂くイベント 参加者34名</p>
56	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	C-1-2 C-2-1 D-1-1 D-3-1	地域づくりを担う若者の人材育成	<p>・地元中学校を対象にしたUターン教育の実施(年10回程度の座学とフィールドワーク) ・インターンシップの受け入れ(秋に2大学を予定)</p>	・地元小中学生を対象にしたUターン教育活動(放課後活動、総合学習、クラブ活動など)

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
57	NPO法人 高田瞽女の文化を 保存・発信する会	C-1-1 C-3-2	瞽女文化発信事業	今年5月に高田世界館で「映画GOZE」が上映されるのを機に、4月～6月に越後瞽女まつりを上越市とコラボして実施する。 ・ミュージアム企画展と上越市立歴史博物館の瞽女常設コーナーとの連携 ・ミュゼ雪小町での「ごぜさの歩いた風景展」の開催と瞽女がたり、瞽女シンポジウムの同時開催 ・高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーでのロケ地巡り ・瞽女唄演奏会や門付け再現など各種イベントを開催	5月13日 天林寺にて奉納演奏とミュージアムにて瞽女唄演奏会 6月11日 第14回高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアー 飯山方面 8月5日 NHK国際放送テレビ番組「Train Cruise」放映(44分) 8月6日 瞽女文化だより第50号を発行 8月11日～15日 「瞽女ミュージアム高田」お盆特別開館 9月16日 NHK視覚障害ナビラジオで「受け継がれる瞽女文化」放送(30分) 9月30日 杉本キクイ瞽女唄CD5枚組 復刻版6000円完成 35セット 10月18日 歌手の石川さゆりさんが喜多條忠 作詩の「越後瞽女」をリリースする 11月2日 小林ハルCD復刻版100部完成 令和6年 1月6日～1月27日 トキめき鉄道「雪月花」冬期運行で4回来館 1月9日 瞽女文化だより第51号新春号を発行 1月16日 NHK教育ハートネットテレビで瞽女を放映(30分) 2月3日 高田瞽女の門付け再現と瞽女宿ライブを開催 3月8日 「町家の日」にエントリー 京都・姫路・大津・金沢・高田・新潟 3月28日 瞽女文化だより第52号を発行 3月29日～4月14日 瞽女ミュージアム高田春の企画展 「杉本カツ・キクイの生涯」
58	お馬出しプロジェクト	C-1-1 C-2-1 C-3-2	お馬出しプロジェクト事業	会場は第20回より継続して武蔵野酒造の「楽酔亭」で行っている。会の前半は講演会、後半は「清宴」と称し日本酒と郷土料理のおもてなしを行いながらまちづくりを話題に交流を行っている。	1 お馬出し塾(5月、12月、3月に地元講師を招き、講演会と懇親会を行った) 2 ミニコンサートの開催(高田まちかど交流館で5組の音楽サークルを招いてコンサートを行った) 3 絵看板アートクイズラリー(高田本町商店街にある絵看板にまつわるクイズラリーを行った)

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
59	越後高田・雁木 ねっと わーく	C-1-1 C-1-3	風鈴街道IN 雁木事業	<p>事業の内容: 雁木の歴史的価値と維持保存の必要性を認識してもらうために毎年夏に雁木の軒先に風鈴を飾ります。また、雁木を題材にして雁木の写真コンテストを実施します。雁木の歴史的価値を知ってもらうためのパンフレットを作成して首都圏向けに発信していきます。他団体との連携を強化し、城下町高田の歴史、伝統文化、風習等を掘り起こす活動をしている団体と一緒に発信していきます。また、団体相互の共同参加、雁木のある町内、町内会長に呼びかけていきます。</p> <p>実施方法: 毎年7月の高田の祇園祭からお盆まで雁木のある町内に呼びかけて風鈴を飾ります。また、雁木を題材にして雁木の写真コンテストを実施します。</p>	<p>・8月1日からお盆まで雁木の軒先に風鈴を飾って、雁木のあるまちの全域に風鈴のまちの景観をつくりました。お盆の期間中、雁木のまちに一齐に行灯を掲出して、雁木のまちの行灯の景観をつくりました。7月下旬から31日までお休み処を開設して高田のまちを訪れた人に麦茶を提供しました。</p>
60	NPO法人 くびきのお 宝のこす 会	C-1-3 C-2-1 C-3-1 C-3-2 C-4-1	くびき野レール パーク公開 事業	<p><くびき野レールパーク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回(6日間)に亘る定期公開・特別公開の実施 ・マンネリ化に陥らない公開イベント内容の工夫、刷新 ・マスコミ等を利用した宣伝の拡大、市内小・中学校へのポスター配布 ・幼児、児童、生徒や一般人を対象とした学習啓発活動の宣伝、推進 ・地元の鉄道関係機関との話し合いによる公開内容の検討 	<p>1 くびき野レールパーク定期公開 5月5日(金)、6月18日(日)、7月16日(日)、9月17日(日)、10月14日(土)・15日(日)の5回6日間実施 時間はいずれも9:00~15:00公開 訪問者数合計1932人 予定していた公開をすべて実施することができた</p> <p>2 くびき野レールパーク要請公開 各種団体の要請により公開 訪問団体数22団体649人</p> <p>3 レールパーク開設15周年記念式典・シンポジウム・写真展開催 (11月11日) 式典には80名来訪</p>
61	南本町三丁目まち づくり協議 会	C-1-1 C-1-3 C-2-1	町内景観ガイド ラインの活用と制度づくり	<p>専門家と市役所と連携を取りながら、適切なアドバイスをいただき住民参加で取り組んでいく。また、今上越技術高等学校の生徒さんたちと交流しながら行っているので継続して、若い力と発想を吹き込んでもらうよう努力と協力をしていく。町内情報発信として情報誌「なん・ぼん・さん」を作成している。これを継続し町内を見直しながら魅力ある町づくりをしていきたい。</p>	<p>○雁木保全にむけて取り組んでいるが、景観を良くしようと「辻灯籠」を専門家と上越総合技術高校の生徒さんたちにも協力してもらい、2体制作し、町内の夏祭り、「青田川灯りロード」「雁木フェスティバル」に披露した。</p> <p>○町内の一部分ではあるが、景観重点区域に指定された。また、まちなか居住推進地区認定にむけて取り組んだ結果、5月に市より認定を受けた。</p>

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
62	えちごトキめき鉄道株式会社	C-3-1	トキてつサポーターズクラブ	<p>○サポーター会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費を払って入会 ・会員特典は、会員証、優待乗車券、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用、雪月花乗車代割引等。 ・ポイントカードの導入。駅窓口での割引券、回数券等の購入やサポーターズクラブのイベント参加でポイント加算。ポイントは景品と交換可能。 <p>○サポート団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対してクラブ会費から経費の一部を助成する。 <p>○協賛店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。 	沿線人口の減少による利用者減が想定される中、トキ鉄を存続させ、安定経営を図るためには、地域の皆さまと一体となって利用促進の取組みを進める事が必要。地域の皆さまに自分たちの鉄道「マイルール」意識を持っていただき、利用促進及び沿線地域の活性化を図るため、サポーターズクラブ事業の推進を継続した。
63	えちごトキめき鉄道株式会社	C-1-1 C-3-1	直江津D51レールパークを活用したイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・直江津駅自由通路を使用し、年間4回程度継続的に開催。 ・直江津商店街を中心とした出店者を募り、物販物・飲食用ブースを配置、弊社のトキ鉄グッズ販売ブース配置。 ・目玉となる企画(うみがたりとの連携など)で集客を目指す。 ・SNS等での発信でマルシェ定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月にオープンした「直江津D51レールパーク」内で、交流人口拡大、地域の賑わいづくりを目的に地元事業者や他鉄道会社等と連携し、物販イベントやライトアップイベントなどを定期的に開催。
64	頸城自動車株式会社	C-3-1	乗合バス事業	<p>下記の事業の取組については、上越市次期総合公共交通計画に沿って、市と連携して取り組む予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.計画区域 上越市全域 2.計画期間 令和2年度から令和9年度までの8年間 3.公共交通ネットワークのイメージ <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線を基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定する。 ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」等、効率的な運行形態を検討する。 <p><各種支援内容></p> <p>国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化再生法に基づく支援 ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づく支援 <p>新潟県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県バス運行対策費補助金交付要綱に基づく支援 ・新潟県生活交通確保対策補助金交付要綱に基づく支援 <p>上越市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス運行対策費補助金として支援 <p><他団体との連携意向等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と連携し、各区総合事務所や沿線町内会、学校関係等との調整を図りながら進めていく予定です。 	<p>第2次総合公共交通計画に基づき路線バスの再編について、市と連携し、下記のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐内・直江津循環線、謙信公大通り循環線、アルカディアシャトル便の利用の少ない便を減便し、運行の効率化を図った。 ・浜線の温泉施設入口にバス停を新設し、利便性向上を図った。 <p>公共交通の利用促進策の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内高速バス車両にクレジットカード決済機器を搭載し、利便性向上を図った。 ・総合時刻表の配布やバス乗車体験キャンペーンを実施した。 ・保育園へバスを持ち込みバスの乗り方教室を実施した。(保育園6園151名) ・各種イベントで周遊バスの運行や公共交通ブースを出店し、路線バスのPRに努めた。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
65	JR東日本 鉄道OB 会直江津 支部	C-1-1 C-2-1 C-3-1	鉄道を通じた 街おこし	<ol style="list-style-type: none"> 1. 五智公園にあるD51-75蒸気機関車保存清掃活動を一般市民を交え行う 2. 10月「鉄道の日」駅前商店街協力し開催する 3. 信越線無人駅清掃の実施 4. 新潟県鉄道発祥の地啓蒙活動(講演等) 5. 新潟県鉄道発祥の地石碑建立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. R5.6 無人駅清掃(上下浜駅。土底浜駅。潟町駅)を行いました 2. R5.7久比岐地区公民館合同事業京北カレッジで大潟区の鉄道の歴史講話を行いました 3. R5.8 五智交通公園内D51-75清掃保存活動を市民とともにを行いました。 4. R5.9 直江津駅南口上り口下D51動輪再塗装を行いました 5. R5.10「鉄道まつり」を直江津駅自由通路にて鉄道まつり実行委員会とともにを行いました。 6. R5.11聖母マリアこども園/R6.01東城こども園鉄道ジオラマを持ち訪問鉄道事故防止を話して来ました。 7. R6.3「地域の宝」の集いに鉄道部品を展示しました。
66	まちづくり 市民大学 OB会	C-2-1 D-3-1	男女共同参 画推進事業	<p>事業の内容:上越市が面している課題をゼミ形式で学習していきます。</p> <p>実施方法:年間7回程度の講座を開催して行きます。課題別にグループに分かれて課題の背景や問題点を探り改善点を話し合っていきます。女性が社会のあらゆる分野において活躍してもらうことが必要ですがこのための人材育成の計画がどこにもない現状から、女性の人材育成に関しても取り組みたいと考えています。</p>	男女共同参画推進センター講座「女性のための市政入門講座」を1回、「女性のための地域協議会講座」を2回実施しました。
67	公益社団 法人 上越青年 会議所	C-2-1	クリーンナッ プ事業	-	船見公園クリーンナップ
68	公益社団 法人 上越青年 会議所	B-2-1	縁ミーティ ング事業	-	若者の未婚率が上昇しており、人口の自然動態減少に歯止めがかかっておりません。近年はコロナ禍という状況もあり、対面でのコミュニケーションが減少しております。若者の興味のある「グルメ」「写真スポット」を提供することで、共通の趣味を持った人々が集まることで、自然な出会いを創り上げることを目指した集客イベントを高田城址公園で実施。来場していただいた男女にミッションを設け新たな出会いを創生する。キッチンカー、高田城三重櫓プロジェクトマップ、フォトウエディング。
69	公益社団 法人 上越青年 会議所	C-4-1	上越ファミ リーラリー事 業	-	指定箇所(上越市内の観光地等)を交通規制遵守の上、運転や所要時間の正確性を競う。

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
70	上越若者 みらい会議	D-3-1	JOUETU 若 者みらい会議	—	<p>●みらい会議 開催 9月10日(日) 場所 ミュゼ雪小町 時間 14時~16時 対象 だいたい40歳以下の社会人、専門・大学生</p> <p>参加者 6名</p> <p>参加者にあつたらしいな・やってみたい」を発案してもらい、チームを作り、イベントを作り上げていく。『子供が主役の縁日、高校生の会、雪上運動会』など様々なアイデアが上がったが今年度実施可能なイベントとしてSDGsと地方創生が学べるSDGsボードゲーム会を実施する事となった。</p>
71	一般社団 法人 地 域創生イ ンターナ ショナル	C-3-2	多能ビレッジ アドベン チャーキャン プ場の整備 事業	—	<p>多能ビレッジアドベンチャーキャンプ場として、多能鉱泉施設を整備し以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外に炊事場を設置(2023年10月1日完了) ・上越教育大学大学生と協働し同キャンプ場を利用して日帰り体験キャンプを実施した。合計21名が参加し、自然体験教育の一助として活用され好評を得た。(実施日2023年10月8日) 参加者の詳細は次の通り。 <p>上越市立上杉小学校生徒7名、上雲寺小学校生徒2名、保護者2名と幼児1名、上越教育大学渡辺研究室 渡辺径子教授、同大学院生3名、同大学生5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記キャンプ実施時に撮影した写真を使用して、キャンプ場案内用のパンフレットを作成した。(2024年3月12日)

No.	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和5年度の取組内容
72	上越5e協議会	C-4-1	ワーケーション実証事業	—	ワーケーションパッケージとして、屋内外でのワーク実証と市内10カ所のスポットへの視察を実施、うち8カ所についてインフルエンサー3名よりスポットや施設等についての具体的な意見・提案を収集できた。(収集意見は協議会内の次年度以降の取組みに活用)また屋内外のワークについてはローカル5G通信での実証を行い、セキュリティはもちろん、通信特性を活かした様々なシーン(多人数セミナーなど)での活用に期待が出来ることでワーケーションの幅が広がる事が確認できた。
73	上越5e協議会	D-3-1	eスポーツ事業	—	無料体験会については告知不足もあったが、11回の開催で延べ216名の参加体験となり、一定の競技人口の底上げに寄与出来たが、年齢層が偏った事や告知方法等は次年度の課題として検討していきたい。高校生と高齢者のeスポーツを通じた世代間交流事業は、高齢者の健康促進も含めた期待効果は大きいですが、単発の事業となってしまう、次年度以降は通年での交流事業を検討。eスポーツ大会については、震災等の影響で延期・縮小を余儀なくされたが、多くの参加者が集い初年度としては成功と言える。今後の市場規模拡大を視野に入れ、県内の先駆けとしても、拡大継続していく。